

加茂及び東宮城野小学校区における両事業の連携状況について
(第 2 回委員会時における関係者ヒアリングの主な内容)

1 加茂小学校区の連携状況

(1) 本年度の連携日数

児童クラブ児童が子ども教室の活動プログラムに参加 3 日

地域行事等への両事業従事者の参加・協力 4 日

(2) 実施時の工夫

- 児童センターが作成した年間の活動予定表を子ども教室側と共有し、児童クラブ児童が子ども教室に参加可能な日を調整した。
- 児童の安全確保等の観点から、児童センター職員 2 名が子ども教室のプログラムに参加し、活動後に児童センターまで児童を引率した。
- 児童センター職員が、子ども教室利用後の児童クラブの利用希望、帰宅方法等を事前に保護者と調整した。
- 学校支援地域本部のスーパーバイザーやコーディネーターよりプログラムを実施する上で様々なアドバイスをいただいている。

(3) 課題

- 児童クラブの要支援児が子ども教室に参加する場合は、児童センター職員を更に増やして対応する必要がある。
- 事故や怪我等があった際の保険の適用区分等を整理する必要がある。

2 東宮城野小学校区の連携状況

(1) 放課後子ども教室視察の概要

日時：11 月 28 日（水）15 時 15 分～15 時 45 分

場所：東宮城野小学校 2 階 あげぼの教室（普通教室）

児童数：12 名

スタッフ数：子ども教室 2 名

内容：宿題、折り紙、読み聞かせ等の活動に児童クラブ登録児童も一緒に参加する様子を視察

(2) 実施時の工夫

- 年度当初に、子ども教室の利用に関する承諾書を保護者より提出いただいている。
- 児童の安全を考慮し、教室以外では活動しないようにしている。
- 児童の心の安定を図るため活動終了時に読み聞かせを行っている。

(3) 課題

- 職員の負担軽減を図るため新たな人材を確保する必要がある。
- 事故や怪我等があった際の保険の適用区分等を整理する必要がある。